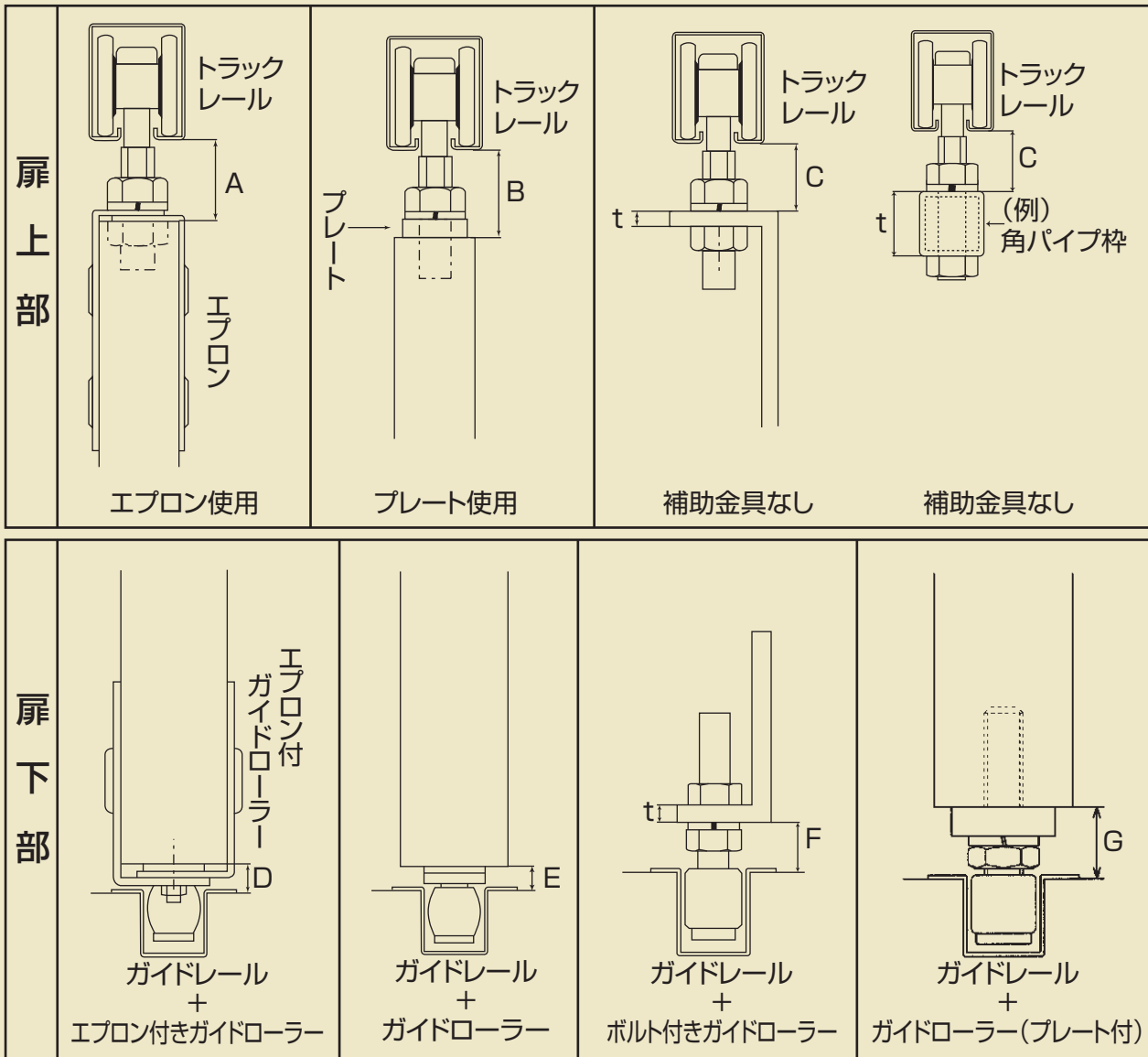


# レールと扉のすき間寸法



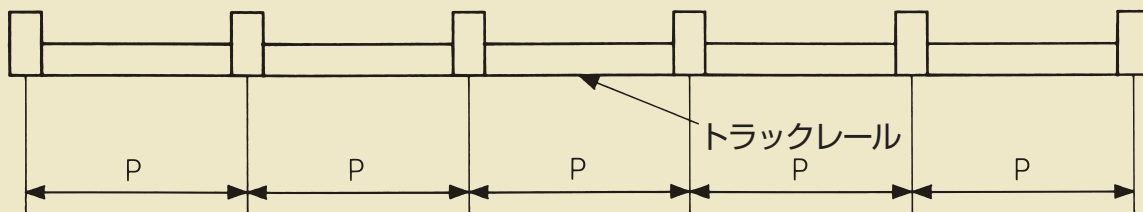
		扉 上 部		
		A	B	C
2号	単 車	35～52	39～53	33～(53-t)
	複 車	35～45	39～46	33～(44-t)
3号	単 車	45～57	48～58	38～(57-t)
	複 車	37～45	40～45	31～(44-t)
4号	単 車	50～77	53～78	43～(74-t)
	複 車	40～69	43～58	33～(64-t)
5号	単 車	65～105	71～119	58～(108-t)
	複 車	62～102	68～116	55～(105-t)
6号	複 車	5号エプロン使用 49～92	5号プレート使用 54～109	41～(91-t)
7号	複 車		80～135	57～(120-t)
8号	複 車		7号プレート使用 93～141	57～(128-t)

		扉 下 部			
		D	E	F	G
ガイドレール	2号		10		
	3号	12	※ 11 (10)	16～(27-t)	24～50
	4号		12	22～(74-t)	
	5号		16	23～(73-t)	30～80
	7号		20	28～(72-t)	

※ガイドローラー (後付けタイプ)

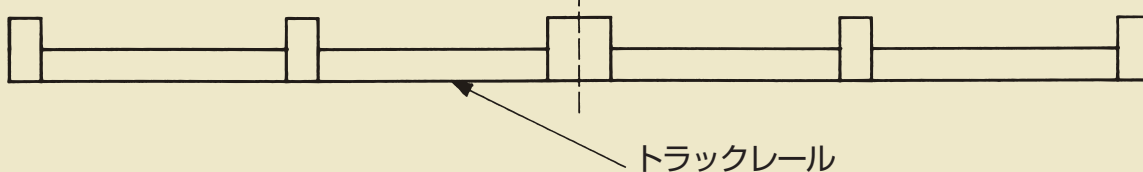
■トラックレールの取り付け

ブラケットの取付間隔は455mmが基本です



■トラックレールの取り付け

レールの継目には継受を使用して下さい

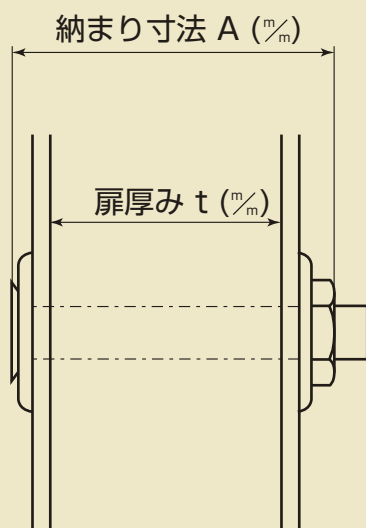


■扉の各サイズにおける、耐荷重（扉一枚あたり）

		2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
適用扉重量 (2個吊当り) kg	単車	50	75 (55)	180	250	*	*	*
	複車	70	150 (115)	300	500	700	1000	1500

( ) 内はウレタン車使用時

■エプロン・エプロン付ガイドローラー、取付後の納まり寸法



エプロン

A =

2号	3号	4号	5号
t+13	t+13	t+13	t+14

エプロン付ガイドローラー

A =

3号
t+14

## ■トラックレールの固定とジョイント方法

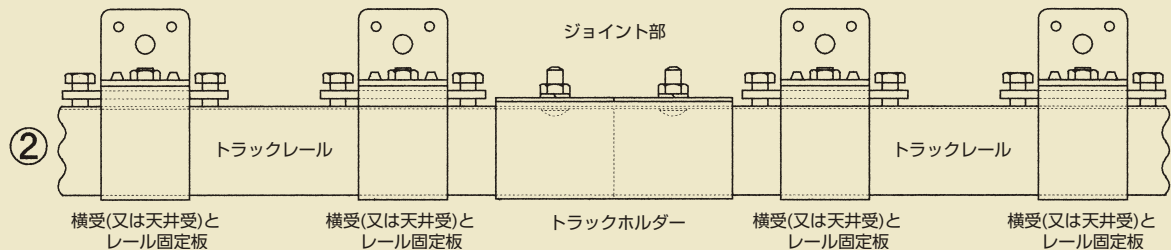
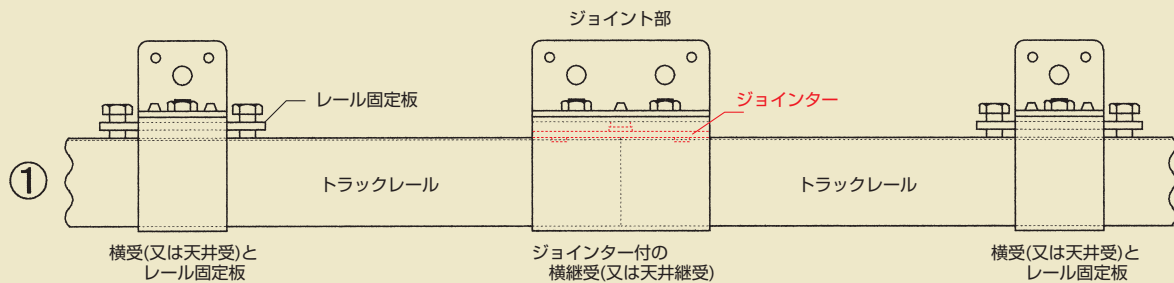
溶接以外の方法でトラックレールを固定、ジョイントするのに次のようなものがあります。

但し、横受(一連～三連)または、天井受(一連～三連)を使用する場合のみ有効です。

ブラケットにボックス受を使用される場合は、固定板やトラックホルダーと併用できません。

(例) 横受一連を使用

(横受一連～三連、天井受一連～三連でも同様の施工が可能)



トラックホルダーで接続する場合、ホルダーのすぐ両隣にブラケットを取り付けてください。

